



ピンッと真っすぐに手を伸ばして、横断歩道を渡りましょう。

## いのちを守る交通ルール

### 新入学児童交通安全教室

交通安全推進事業の一環として4月21日(水)、菅原小学校で白山警察署と市交通安全協会による小学1年生に向けた交通安全教室が開催されました。1つしかない大切な命を守るために、白山警察署交通課の松本さんから道路の歩き方や信号機の見方についての話がありました。また、交通安全のための3つのポイントとして、止まる・見る・待つを守り、絶対に飛び出さないでほしいとの声かけに、ピカピカの新入生たちは元気な返事とキラキラした眼差しで応えていました。

## 小さな、大切な命を守るために ののいちにゃんフェス

5月2日(日)、地域猫活動を紹介するののいちにゃんフェスがにぎわいの里ののいちカミーノで開催されました。このイベントを主催したののいちにゃんこのおうちは、野良猫に不妊・去勢手術を施す地域猫活動や里親探しに取り組んでいる団体。代表の中野美穂さんは、「地域猫が増えれば鳴き声や糞尿などの問題も解決し地域の環境を良くすることにもつながります。イベントを通して、たくさんの人に関心を持ってもらい大切な命を守っていききたいです。」と話しました。



チャリティバザーやかわいいネコグッズの販売もありました。



今は小さな花苗ですが、11月頃には大輪の花を咲かせます。

## 大切に大きく育ててね

### 野々市市菊花協会の花苗配布

5月9日(日)、にぎわいの里ののいちカミーノで市菊花協会の会員が丹精して育てた菊の花苗200本の配布が行われました。野々市に菊花を普及させたいとの思いから毎年開催されている配布会ですが、なんと約60年もの歴史があるそうです。この日訪れた人たちは、青々とした花苗を嬉しそうに受け取っていました。協会ではこの他に、小学4年生に向けた菊花のダルマ仕立ての指導なども行っています。小坂努会長は「興味があれば新しい人にも参加してほしい」と話しました。



江戸時代は治安が安定し庶民に旅行ブームが起こったそう。

## 交通の要所 野々市の歴史

### 郷土資料館企画展「野々市を通る！！」

2月25日～5月9日に、道と旅をテーマにした企画展が郷土資料館で開催されました。奈良・平安時代の古代北陸道や江戸時代の旧北国街道など、野々市を通った道にまつわる古文書などの文化財を展示。中でも来場者の目を引いたのが江戸時代の旅をおもしろおかしく描いた十返舎一九の書物。住吉の宮(布市神社)の大イチョウが野々市の名所として紹介されています。訪れた女性は「今まで気にとめていなかった場所が観光スポットだったなんて！」と驚いた様子でした。

# Focus

まちの話題  
皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。  
市民協働課 ☎ 227-6056

## 未来に向けて接種開始！

### 新型コロナワクチン 65歳以上対象の 集団接種

情報交流館カメリアで、65歳以上の人を対象に新型コロナワクチンの集団接種がスタートしました。初日である5月13日(木)には予約した時間に合わせて160人が訪れ接種を受けました。接種を終えた男性は「最初にちくっとしただけで、びっくりする程痛みがなかった。感染拡大を防ぐために接種は必要だと思うので、予約方法や接種の流れをサークルの仲間にも教えたい」と話しました。

今後、土日を含めた日程で接種が行われます。集団接種の他、市内20カ所以上の協力医療機関でも接種を受けることができます。



①ワクチンは利き腕と反対の腕に接種します。②接種前の予診では持病や服薬状況などを確認します。③接種後は副反応に備えて会場内で15～30分間の経過観察を行います。④最後に2回目の接種予約をして終了です。



玄関を彩るきれいな花々に気持ちが和らぎますね。

## お花で気持ちを華やかに

### 野々市市女性協議会が市役所玄関前に花植え

5月6日(木)、市女性協議会が市役所正面玄関前に花を植えました。この活動は「コロナ禍に女性協議会として何ができるか」を会員で話し合い、市民の皆さんが少しでも明るい気持ちになればと実施を決めたものです。植えた花は、日日草、マリーゴールド、サルビア、ラベンダーの4種類。花植えの前後には、周辺の除草も行いました。水やりなどは会員が交代で行い、季節ごとに植え替えも予定しています。市役所に立ち寄る際はぜひ、色とりどりの花々を楽しんでください。

## とっても便利な のっていいバス

### コミュニティバスの利用者数が300万人に

車がなくても気軽に外出できる地域の足として平成15年に運行を開始したコミュニティバスののっティ。公共施設や学校などを1周50分、4ルートで巡っています。4月17日(土)にその延べ利用者数が300万人を突破！5月5日(水)に車内で記念のエコバッグを配布し、この節目を祝いました。4月には一部ルート変更を行い、住宅地や病院が新たに整備された西部中央地区への乗り入れをスタートしました。のっティはこれからも暮らしを支える公共交通として走り続けます。



シャトルバスのんキーは昨年12月に延べ利用者数20万人突破。

